

(様式6)

件 名：	周防鋳銭司設置1200年記念事業の開催及び史跡周防鋳銭司跡における新たな銭種「貞観永宝」の発見について
担当課：	教育委員会 文化財保護課 (電話：083-920-4111)

1. 鋳銭司・陶地区文化財総合調査事業について

本事業では、山口市と山口大学が連携して市南部の^{すぜんじ}鋳銭司・^{すえ}陶地域にある^{すおうのじゆせんしあと}周防鋳銭司関連遺跡の調査等を行っています。

[事業開始の経緯]

平成27年度に山口大学から山口学研究センター研究プロジェクト「古代テクノポリス山口～その解明と地域資産創出を目指して～」への協力依頼があったことを契機とし、平成28年度から大学・行政・地域の協働による取組として、連携事業を開始しました。

文化財保護課は、史跡周防鋳銭司跡の発掘調査をはじめとして、鋳銭司・陶地域に点在する周防鋳銭司関連遺跡・伝承地の各種調査を行い、周防鋳銭司の実態解明を進めるとともに、史跡周防鋳銭司跡の活用に取り組んでいます。

[事業の経過]

史跡周防鋳銭司跡では、昭和40年代に第1次・第2次発掘調査を実施して以降、調査が行われていませんでしたので、山口大学と協働で、文化庁の補助事業を活用して、平成29年度から発掘調査を開始しました。最終年度である令和2年度末には発掘調査報告書『史跡周防鋳銭司跡』を刊行しました。

山口大学との連携事業で行った調査等により、一定の成果が得られたものの、解明すべき課題もあることから、令和3年度以降も引き続き史跡周防鋳銭司跡の発掘調査をはじめとする各種調査を継続することとなりました。調査は山口大学の協力も得て進めることとしており、山口大学山口学研究センターにおいても、研究プロジェクト「古代テクノポリス山口～その解明と地域資産創出を目指して～」が令和7年度まで5年間延長されることとなりました。

令和3年度には史跡地において発掘調査（第7次調査）を行い、令和4年度に発掘報告書『史跡周防鋳銭司跡2』を刊行しました。

また、令和3・4年度の2か年で、史跡の保存活用の方針と方向性

及び方法を定めた「史跡周防鋳銭司跡保存活用計画」を策定しました。

本計画の計画期間は令和5年度から9年度までの5か年で、計画期間中は史跡をはじめ周防鋳銭司関連遺跡の調査を重点的に行うこととしています。

2. 調査体制

山口大学山口学研究センター・人文学部

山口市教育委員会文化財保護課

※調査は、山口市教育委員会が設置した史跡周防鋳銭司跡調査検討委員会の指導を仰ぎながら進めています。

参考：史跡周防鋳銭司跡調査検討委員会委員名簿（令和7年4月1日現在）

	氏 名	分 野	役 職 等
○	渡辺 一雄	学識経験者（生産遺跡）	元梅光学院大学副学長
	池田 善文	学識経験者（鋳造遺跡）	元長登銅山文化交流館館長
	林部 均	学識経験者（官衙遺跡）	国立歴史民俗博物館教授
	大林 潤	学識経験者（建築史）	奈良文化財研究所上席研究員
	黒羽 亮太	学識経験者（古代史）	山口大学人文学部准教授
	本廣 正則	地元代表	鋳銭司自治会会長
	伊藤 健司	地元代表	陶連合自治会会長

○は会長

3. 調査経過

- ・ 第1次調査 期間：昭和40年8月20日～昭和41年3月20日
面積：422㎡
- ・ 第2次調査 期間：昭和47年2月24日～3月31日
面積：2,167㎡
- ・ 第3次調査 期間：平成29年8月28日～3月13日
面積：450㎡
- ・ 第4次調査 期間：平成30年8月28日～平成31年3月30日
面積：346㎡
- ・ 第5次調査 期間：令和元年8月26日～12月10日
面積：116㎡

- ・ 第6次調査 期間：令和2年4月30日～令和3年1月7日
面積：315㎡
- ・ 第7次調査 期間：令和3年8月10日～令和4年3月30日
面積：150㎡
- ・ 第8次調査 期間：令和5年7月3日～令和6年3月28日
面積：225㎡
- ・ 第9次調査 期間：令和6年5月30日～令和6年12月16日
面積：335㎡
- ・ 第10次調査 期間：令和7年6月下旬～令和7年12月下旬（予定）
面積：約430㎡



①母銭や種銭を複数製作する



②種銭をもとに表・裏面の鋳型を作る



③鑄造炉で金属を溶かす



④鋳型を合わせ、溶かした金属を流し込む



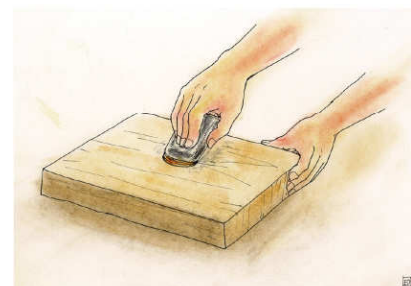
⑤鋳型から枝銭を取り出す



⑥枝銭から銭を切り離す



⑦ヤスリで銭の外側のバリを削り取る

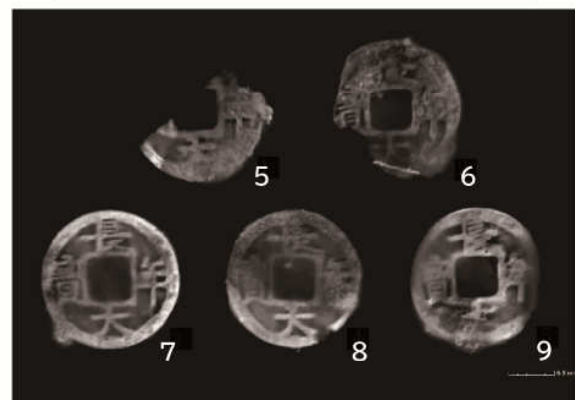
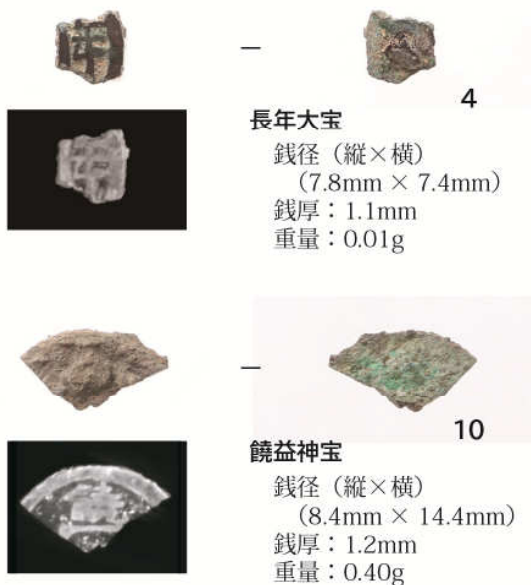
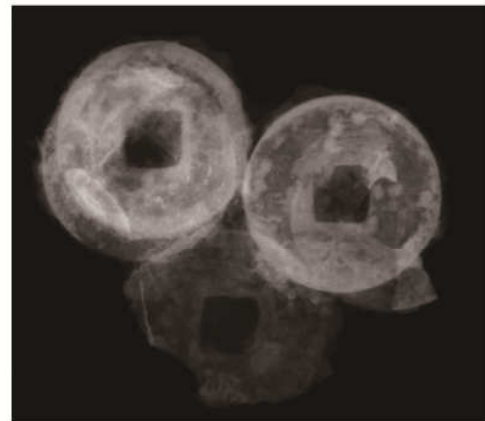
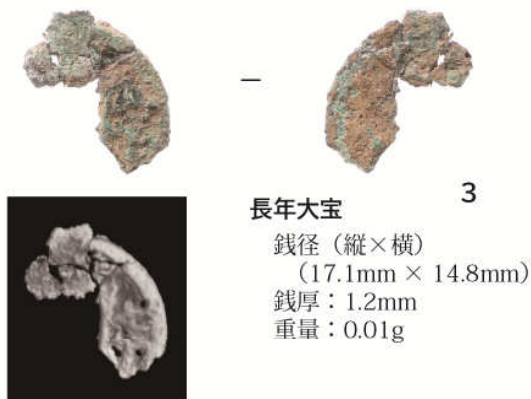
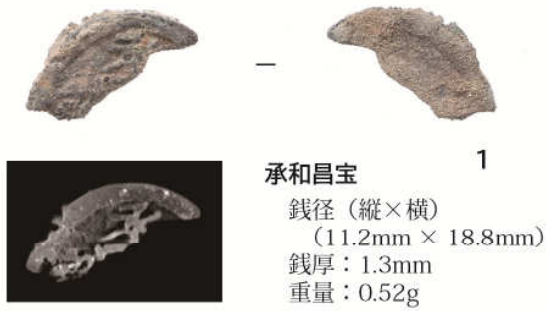


⑧銭の表面を磨いて仕上げる

作：早川和子

図1 古代のお金づくり（イメージ）

○参考：これまでに出土した古代の銭貨（1～10：山口市指定文化財）



重量：7.27g

5	銭径：20.0mm	銭厚：1.0mm
6	銭径：20.0mm	銭厚：1.0mm
7	銭径：20.0mm	銭厚：1.2mm
8	銭径：20.2mm	銭厚：1.2mm
9	銭径：20.1mm	銭厚：1.2mm

※写真は、原寸×約1.4倍（5～9個別X線CT画像は、ほぼ原寸）

※X線CT画像は、公益財団法人元興寺文化財研究所（1～2、5～10）及び九州歴史資料館（3～4）提供



11

富寿神宝

錢径：23.1×23.0 mm

錢厚：1.5 mm

重量：1.71 g

※写真、X線CT画像はほぼ原寸

※X線CT画像は、公益財団法人元興寺文化財研究所提供

	銭 種	特 徴	調査回数
1	承和昌宝	「承」の字と「宝」のウ冠が確認できる小破片。外輪に鋳張りあり。	4次
2	承和昌宝	「承」の字が確認できる小破片。外輪に鋳張りあり。	
3	長年大宝	「長」と「年」の字が確認できる破片。外縁、内郭に鋳張りあり。	1次
4	長年大宝	「年」の字のみが確認できる小破片。外縁に鋳張りあり。	
5	長年大宝	「年」と「大」が確認できる破片。「長」と「宝」の字のある左上側が欠ける。	3次
6	長年大宝	「長年大宝」の字が確認できる。「大」の左側が欠ける。内郭に鋳張りあり。	
7	長年大宝	完形。「長年大宝」の字が確認できる。外輪に鋳張り湯口痕あり。内郭に鋳張りあり。	
8	長年大宝	完形。「長年大宝」の字が確認できる。	
9	長年大宝	「長年大宝」の字が確認できる。「年」側が裏側に湾曲。外輪に鋳張りあり。	
10	饒益神宝	「饒」の字のみ確認ができる小破片。外輪と内郭に鋳張りあり。	4次
11	富寿神宝	完形。「富寿神宝」の字が確認できる。輪側が平坦で角が立つとともに摩耗がないことから、研磨仕上げを行った完成品で、かつ未使用の状態と考えられる	4次

周防鑄銭司設置1200年記念事業スケジュール

	イベント等名称	開催等場所	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
1	鑄銭司郷土館展示リニューアル	鑄銭司郷土館	4/19●			●4/26トーク(史跡周防鑄銭司跡)			●6/15トーク(史跡周防鑄銭司跡)																				
2	山口市歴史民俗資料館企画展「古代の山口」	山口市歴史民俗資料館										7/19●																	
	連携展示	周防の郷土館 山口県立歴史民俗資料館 山口県立歴史民俗資料館 山口県立山口博物館										●7/20トーク																	
	県外でのスポット展示① 日本銀行貨幣博物館(東京)	日本銀行貨幣博物館(東京)										7/19●																	
	県外でのスポット展示② 造幣局造幣博物館(大阪)	造幣局造幣博物館(大阪)										7/15●																	※2月下旬頃まで
3	記念講演会	山口南総合センター																											
4	周防鑄銭司まつり(仮)	史跡周防鑄銭司跡																											
5	鑄造体験	鑄銭司ふくことまつり 陶ふくあいまつり																											
6	ラリーイベント① 「連携展示ラリー」	山口市歴史民俗資料館 周防の郷土館 山口県立歴史民俗資料館 山口県立山口博物館																											
	ラリーイベント② 「鑄銭司・陶ラリー」	鑄銭司地域 陶地域																											
	「貞観永宝」特別公開展示	鑄銭司郷土館																											



山口市誕生20周年記念
周防鑄銭司設置1200年記念

郷土館 鑄銭司

2025 4/19 Sat

12:00~ 展示

リニューアル

OPEN

すおうのじゅせんし

大村益次郎と周防鑄銭司・貨幣の歴史

1984年に開館し昨年に開館40周年を迎えた当館は、開館以来初めてとなる常設展示のリニューアルを行いました。館内では、新たに収集した資料や出土資料を加え、復元イメージ図などのグラフィックを使って最新の研究成果を紹介する展示となっています。

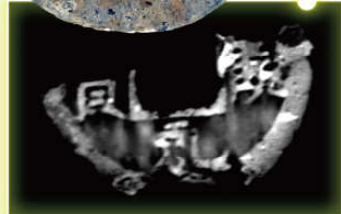
4/19

リニューアル
オープン記念

先着100名様

「紅白餅」
プレゼント

鑄銭司郷土館 〒747-1221 山口県山口市鑄銭司11422番地 開館時間 / 9:00~17:00(入館は16:30まで) TEL&Fax 083-986-2368



6/3 (火)

11/24 (月・祝)

貞観永宝 特別公開



貞觀永宝：貞觀12年(870)～寛平2年(890)
X線CT画像：元興寺文化財研究所提供

〒747-1221 山口市鑄銭司 11422 番地
TEL・FAX / 083-986-2368

〈開館時間〉9:00～17:00（入場は16:30まで）
 〈休館日〉月曜日（祝日の場合は翌平日）

〈観覧料〉110円 ※20名以上の団体の場合、団体割引あり
 ※18歳以下、70歳以上の方、障がいのある方及び同行の介助者は無料



周防鑄銭司まつり (仮)

会場 史跡周防鑄銭司跡

10月11日(土)
10:00~14:00

発掘調査
現地
説明会

古代米
入りのおもち
餅まき

古代がテーマの
ものづくり体験

- ・銭貨鑄造
せん か ちゅうぞう
- ・木簡(墨書)
もっかん ぼくしょ
- ・勾玉づくり

「古代の山口」が
わかる!

山口市歴史民俗資料館企画展

「古代の山口」

7月19日(土)~
11月24日(月・祝)

すおうのじゅせんし
周防鑄銭司

825
1200
2025 ←

記念事業

連携展示

- ・鑄銭司郷土館
- ・小郡文化資料館
- ・山口大学埋蔵文化財資料館
- ・山口県立山口博物館
- ・日本銀行 貨幣博物館
- ・独立行政法人 造幣局 造幣博物館

鑄銭司郷土館
展示リニューアル
オープン

ギャラリートーク
6月15日(日) 13:30~
「周防鑄銭司と貨幣の歴史」

連携展示
ラリー

鑄銭司・陶
ラリー

ちゅうぞうたいけん
鑄造体験

会場 鑄銭司ふるさとまつりにて
陶ふれあいまつりにて

銭貨鑄造体験
手鞆体験

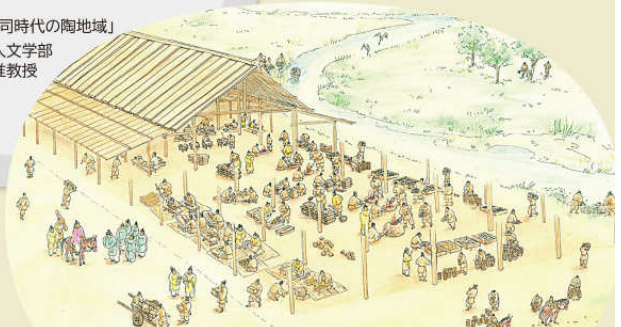


当時の鑄造技術を再現

記念講演会
「みえてきた周防鑄銭司」

9月27日(土) 13:30~15:30

- 基調報告 「周防鑄銭司を描く」
山口市教育委員会 北島大輔
- 記念講演 「(仮)鑄銭司時代の陶地域」
山口大学人文学部
黒羽亮太准教授



カレンダー		
【イベント】	【会場】	【開催日】
● 鑄銭司郷土館 展示リニューアルオープン ギャラリートーク	鑄銭司郷土館 山口市鑄銭司11422	4月19日(土) 6月15日(日) 13:30～
● 企画展「古代の山口」	◇ 山口市歴史民俗資料館 山口市春日町5-1 ◇ 鑄銭司郷土館 山口市鑄銭司11422 ◇ 小郡文化資料館 山口市小郡下郷609-3 ◇ 山口大学埋蔵文化財資料館 山口市吉田1677-1 ◇ 山口県立山口博物館 山口市春日町8-2 日本銀行 貨幣博物館 東京都中央区日本橋本石町1-3-1 (独)造幣局 造幣博物館 大阪府大阪市北区天満1-1-79	前期: 7月19日(土)～9月28日(日) 後期: 10月4日(土)～11月24日(月・祝) ※9月29日(月)～10月3日(金) 展示替え休館
● 連携展示		7月19日(土)～11月24日(月・祝)
● 連携展示ラリー	上記◇5館	7月19日(土)～11月24日(月・祝)
● 記念講演会「みえてきた周防鑄銭司」	山口南総合センター 山口市名田島1218-1	9月27日(土) 13:30～15:30
● 鑄銭司・陶ラリー	鑄銭司地域・陶地域	10月1日(水)～11月30日(日)
● 周防鑄銭司まつり(仮)	史跡 周防鑄銭司跡	10月11日(土) 10:00～14:00
● 鑄造体験	鑄銭司ふるさとまつり 鑄銭司地域交流センター 山口市鑄銭司5675-1 陶ふれあいまつり 陶地域交流センター 山口市陶2595	11月9日(日) 11月16日(日)

※展示施設ごとに休館日が異なります

